

プリンタドライバガイド (CPD30M Ver. 1.00)

Macintosh、Apple、Mac OS は、Apple Computer, Inc の登録商標です。
Adobe、Adobe Photoshop はアドビシステムズ社の商標で、特定の法域で登録されています。
その他の記載の会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

この製品に関する詳細情報を www サーバーでもご提供しています。
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp>

使用環境

コンピュータ	: PowerMacintosh G4, G5, PowerBookG4, iMac
主記憶メモリ	: 128Mbyte 以上
ハードディスク	: 空き容量 256Mbyte 以上
オペレーティングシステム	: 10.3.9、10.4.8 以降 *2
USB ケーブル	: 2m 以下のケーブル推奨

- *1:CP30D は USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェイス対応です。
USB2.0 は USB 1.1 の完全上位互換のため、CP30D は USB 1.1 インターフェイス動作可能パソコンとも接続可能です。
CP30D を USB2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、パソコン側が USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。パソコン側の USB2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっているパソコンメーカーにご確認ください。
- *2:Universal Binary に対応しています。Intel ベース MacOSX、PowerPC ベース MacOSX のどちらでもご利用いただけます。

インストール

このドライバをインストールするためには、Administrator 権限が必要です。

- 1) Macintosh を起動します。
- 2) Mac_CP30D_Ver100 フォルダより、「CP30MacOSX.pkg」をダブルクリックします。
- 3) インストール画面より、「続ける」ボタンをクリックします。(図 1)
- 4) 使用許諾書をお読みにになり、「続ける」ボタンをクリックします。(図 2)

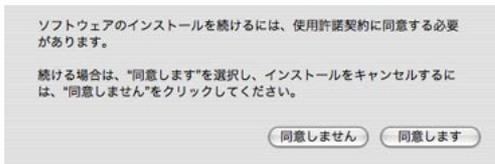


<図 1>



<図 2>

- 5) 契約内容に同意できる場合は「同意します」ボタンをクリックします。(図 3)
 6) ドライバのインストール先を選択し、「続ける」ボタンをクリックします。(図 4)

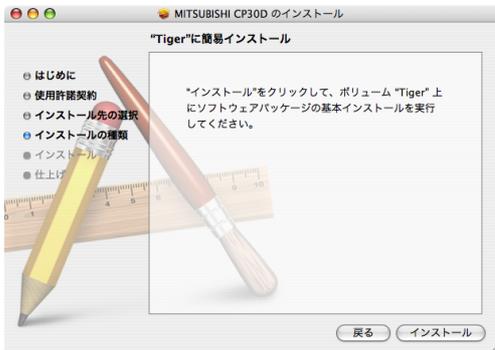


<図 3>



<図 4>

- 7) 「インストール」ボタンをクリックします。(図 5)
 8) 名前とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。(図 6)

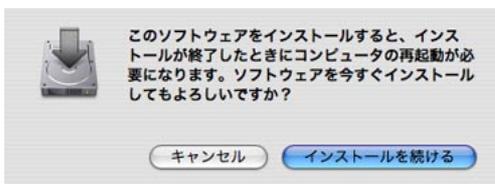


<図 5>



<図 6>

- 9) 「インストールを続ける」ボタンをクリックします。(図 7)
 10) 「再起動」ボタンをクリックしてパソコンを再起動します。(図 8)



<図 7>



<図 8>

- 11) プリンタの電源を入れ、パソコンに接続します。
- 12) 「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダより、「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックします。(図 9)
- 13) 「プリンタリスト」に CP30D が自動的に追加されます。(図 10)

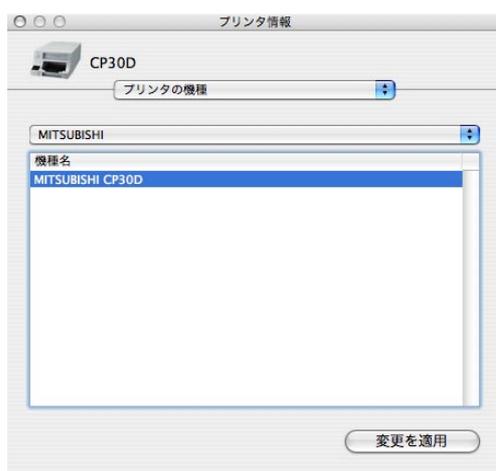


<図 9>



<図 10>

- 14) ドライバを日本語で表示する場合は、15)以降の操作を行ってください。操作を行わなかった場合、「ページ設定」や「プリント」の一部が英語で表示されます。
英語で表示する場合は、15)以降の操作は必要ありません。
- 15) 「プリンタリスト」の「情報を見る」をクリックします。
- 16) 「プリンタ情報」より「プリンタの機種」を選択し、「MITSUBISHI」を設定します。
機種名リストより「MITSUBISHI CP30D」を選択し、「変更を適用」ボタンをクリックします。
(図 11)



<図 11>

アンインストール

プリンタドライバをアンインストールするには、以下の手順に従って操作してください。

- 1) 「ターミナル」を起動します。
- 2) ユーザが管理者権限でない場合は、su コマンドで管理者権限に設定してください。
- 3) アンインストールスクリプトのあるディレクトリに移動し、スクリプト(Rem30.sh)を実行します。
./Rem30.sh
- 4) パスワードを要求された場合は、管理者権限のパスワードを入力します。
- 5) アンインストールに成功すると、下記のメッセージが表示されます。
Uninstallation was completed.
Is a computer rebooted?(Y/N):
- 6) “Y” または “y” を入力し、システムの再起動を行ってください。
システムの再起動が自動的に行えない場合は、実行中のアプリケーションなどを終了し、手動で再起動を行ってください。

1. ページ設定ダイアログ



<図 12. ページ設定ダイアログ>

1) 用紙サイズ

用紙のサイズを選択します。
用紙サイズ別プリント画素数を右の表に示します。

用紙サイズ	プリント画素数(pixels)
S	1600 × 1200
L	2100 × 1600

2) 方向

印刷する画像データの向きを変更できます。
OS 標準の設定機能です。

3) 拡大縮小

拡大縮小の値を設定します。
OS 標準の設定機能です。

2. プリントダイアログ

プリントダイアログより「プリンタの機能」を選択すると、下記の設定が行えます。



<図 13. プリントダイアログ>

1) 印刷モード

スタンダード / パワーセーブ
印刷モードを変更できます。
スタンダード : 高速、高画質印刷を行います。
パワーセーブ : 低消費電力モードで印刷を行います。

2) シャープネス

なし / -3 / -2 / -1 / 0 / 1 / 2 / 3
輪郭補正の強さを変更できます。
なし : 輪郭補正を行わない
-3 ~ 3 : 値が小さいと輪郭がやわらかくなります。
値が大きくと輪郭がシャープになります。

3) 色変換

なし / テーブル 1
なし : 色変換を行いません。
テーブル 1 : 色変換を行います。

3. エラー表示

No.	エラー表示	処理内容
(1)	プリンタが接続されていません。	エラーを解除すると、印刷処理を再開します。
(2)	プリンタからのレスポンスがありません。プリンタの電源を入れ直してください。	エラーダイアログに表示されるボタンの動作はOS標準です。下記のようなボタンが表示されません。
(3)	リボンカートリッジが装着されていません。	
(4)	プリント用紙がありません。	
(5)	ペーパーカセットが装着されていません。	
(6)	プリント出口の用紙を取り除いてください。	
(7)	使用できないリボンカートリッジを検出しました。	ジョブを削除 : 印刷中のジョブを削除します。
(8)	ダイヤルカバーが開いています。	全てのジョブを停止 : 印刷中のジョブを含め、スプーラ内にためられたジョブが全て一時停止となります。
(9)	インクリボンが終了しました。	
(10)	プリント用紙のサイズが異なっています。	
(11)	プリンタドライバで設定した用紙サイズとインクリボンの組み合わせが違います。	
(12)	フラップが開いています。	ジョブを停止 : 印刷中のジョブを停止します。
(13)	メカエラーです。リボンカートリッジを取り出してください。	スプーラ内にためられた他のジョブがある場合は、他のジョブが開始されません。
(14)	ペーパーカセットを取り出し、用紙を確認してください。	
(15)	紙づまりです。ジャム排紙ダイヤルを使って用紙を取り除いてください。	
(16)	紙づまりです。プリンタの電源を入れ直してください。	
(17)	ダイヤルカバーが開いています。ダイヤルカバーを閉め、プリンタの電源を入れ直してください。	
(18)	フラップが開いています。プリンタの電源を入れ直してください。	
(19)	裏蓋が開いています。プリンタの電源を切り、裏蓋を閉めてください。	
(20)	メカエラーです。プリンタの電源を入れ直してください。	
(21)	プリンタにエラーが起きました。プリンタの電源を入れ直してください。	

* パソコン上にエラーが表示されず、プリンタからの印刷も行われない場合は、プリンタの前面インジケータの表示を確認してください。
プリンタの前面インジケータの表示については、CP30D 取扱説明書を参照してください。

注意事項

- 1) スプールファイル用のハードディスクの確保
スプールファイル用のハードディスクの容量を、使用されるプリンタと印画枚数にあわせ十分確保してください。不足した場合正しく印画できないことがあります。通常、スプールファイル用ドライブはシステムのドライブと同じドライブです。
- 2) プリンタ操作
プリンタ操作については、本体取扱説明書を参照してください。
印画データ転送中および印画実行中にプリンタの電源を切らないでください。
やむなく、電源が OFF した場合、ホストコンピュータの再起動が必要となる場合があります。
(印刷ドキュメントの削除が実行できない場合、ホストコンピュータの再起動が必要です。)
- 3) ホストコンピュータとプリンタの接続について
データ転送中にインターフェースケーブルは抜かないでください。
やむなくインターフェースケーブルが抜かれた場合は、プリンタの DATA インジケータの点滅が止まった後、接続を行ってください。プリンタの DATA インジケータの点滅が止まる前にケーブルを接続するとプリンタドライバが正常に動作しなくなる場合があります。
- 4) USB 接続するためのパソコン条件
パソコンメーカーにより USB 動作が保証されているものをご使用ください。
CP30D は USB2.0 (Hi-Speed USB) インターフェイス対応です。
USB2.0 は USB1.1 の完全上位互換のため、CP30D は USB1.1 インターフェイス動作可能パソコンとも接続可能です。
CP30D を USB2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、パソコン側が USB2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。パソコン側の USB2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっているパソコンメーカーにご確認ください。
- 5) USB ケーブルの接続
プリンタドライバのインストール後に USB ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを抜いてから 10 秒以上の間隔を空けてください。間隔をあけずに抜き差しを行うと正常に動作しない場合があります。
- 6) 印刷ジョブ
データ転送中に、スプーラ内の印刷ジョブを削除しないでください。やむなく削除した場合は、プリンタが初期状態になるまで次の印刷を行わないでください。
- 7) 印刷部数
一部のアプリケーションでは、プリンタドライバで設定した印刷部数が機能しない場合があります。アプリケーションの印刷ダイアログボックスから印刷部数の設定を行ってください。
- 8) 印刷中のエラー
印刷中に何らかのエラーが発生しても、PC にエラー表示されない場合があります。プリンタの前面インジケータの表示を確認し処置を行い、再度印刷処理を行ってください。プリンタの前面インジケータの表示と処置については、プリンタの取扱説明書を参照してください。
- 9) エラーダイアログ内の「ジョブ停止」ボタンをクリックした後、エラーを解除せずジョブウィンドウから「再開」を実行しても、エラーダイアログが表示されない場合があります。「ジョブ停止」を選択し、エラーを解除した後、「ジョブを開始」でプリントを行ってください。
- 10) 「プリンタリスト」の「追加」
MacOSX のバージョンによっては、「追加」ボタンで登録したプリンタから印刷が行えない場合があります。インストール操作に記載された手順でプリンタを自動認識させてください。
- 11) 印刷モード設定
プリンタの DIP スイッチ設定によっては、プリンタドライバで印刷モード設定を切り換えても、実際に印刷されるモードが切り換わらない場合があります。
プリンタの DIP スイッチ設定は、CP30D 取扱説明書を参照してください。

禁止事項について

本ドライバに対して、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止いたします。

免責について

動作環境によっては正常に動作しない場合もあります。また本製品に関していかなる損害（逸失利益、特別な事情から生じる損害等）が発生しても、一切責任を負わないものとします。